

尼崎市 公営企業局

令和 7 年度 決算の概要

令和 8 年(2026年) 7 月

水道・工業用水道事業

下水道事業

モーターボート競走事業

目 次

水 道 事 業

P.3

- | | | | |
|--------------------------|------|-----------------------------|------|
| 1 事業の概要 ----- | P. 3 | 2 収益的収支 & 資本的収支の概要 ----- | P. 4 |
| 3 収益的収支 & 資本的収支の内訳 ----- | P. 5 | 4 収益的収支 & 資本的収支の推移 ----- | P. 6 |
| 5 累積資金 & 企業債残高の推移 ----- | P. 7 | 6 純利益・資金の推移 & 利益処分（案） ----- | P. 8 |

工 業 用 水 道 事 業

P.9

- | | | | |
|--------------------------|------|-----------------------------|------|
| 1 事業の概要 ----- | P. 9 | 2 収益的収支 & 資本的収支の概要 ----- | P.10 |
| 3 収益的収支 & 資本的収支の内訳 ----- | P.11 | 4 収益的収支 & 資本的収支の推移 ----- | P.12 |
| 5 累積資金残高の推移 ----- | P.13 | 6 純利益・資金の推移 & 利益処分（案） ----- | P.14 |

下 水 道 事 業

P.15

- | | | | |
|--------------------------|------|-----------------------------|------|
| 1 事業の概要 ----- | P.15 | 2 収益的収支 & 資本的収支の概要 ----- | P.16 |
| 3 収益的収支 & 資本的収支の内訳 ----- | P.17 | 4 収益的収支 & 資本的収支の推移 ----- | P.18 |
| 5 累積資金 & 企業債残高の推移 ----- | P.19 | 6 純利益・資金の推移 & 利益処分（案） ----- | P.20 |

モ ー タ ー ボ ー ト 競 走 事 業

P.21

- | | | | |
|--------------------------|------|----------------------------|------|
| 1 事業の概要 ----- | P.21 | 2 収益的収支 & 資本的収支の概要 ----- | P.22 |
| 3 収益的収支 & 資本的収支の内訳 ----- | P.23 | 4 収益的収支 & 資本的収支の推移 ----- | P.24 |
| 5 累積資金残高の推移 ----- | P.25 | 6 財政計画との比較 & 利益処分（案） ----- | P.26 |

（本資料の数値は全て表示単位未満を四捨五入で記載・文中の数値や表・グラフ内で合計が不一致の場合あり）

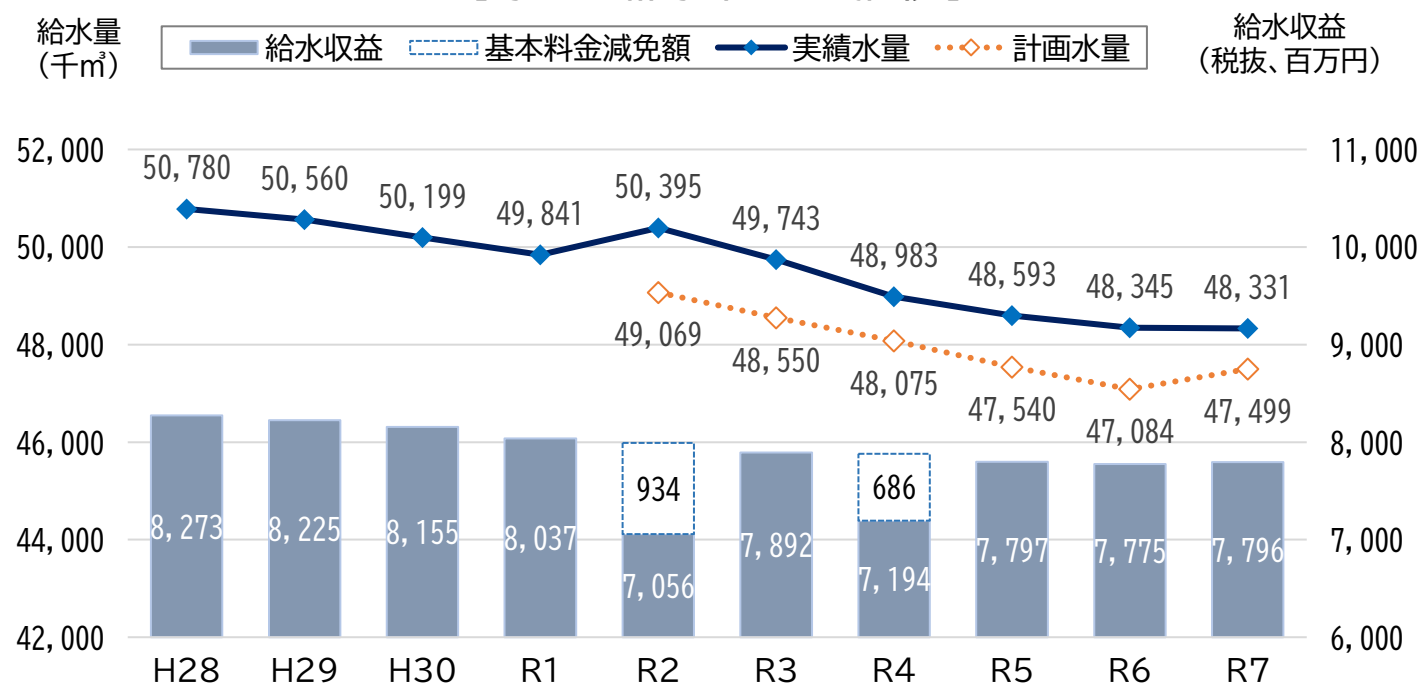
1 事業の概要

区 分		令和7年度	令和6年度	増減	増減率
給 水 人 口		457,202 人	453,646 人	3,556 人	0.8%
給 水 戸 数		254,273 戸	251,992 戸	2,281 戸	0.9%
給水量	年間総量	48,330,521 m³	48,345,048 m³	△ 14,527 m³	△ 0.0%
	一日平均	132,412 m³	132,452 m³	△ 40 m³	△ 0.0%

Point! 給水人口 & 戸数 = 共に微増

- 給水人口は0.8%の増
457,202人
- 給水戸数は0.9%の増
254,273戸
- 年間給水量はほぼ横ばい
4,833万m³

【 水 量 ・ 給 水 収 益 の 推 移 】



Point! 給水量 & 収益 = ほぼ横ばい

- 近年では令和2年度（新型コロナウイルス感染症の影響あり）を除き、減少傾向が続いていたが、令和7年度決算では、給水量（微減）、給水収益（微増）ともにほぼ横ばいとなった（給水量は小口径は引き続き減、中・大口径は増）。

2 収益的収支 & 資本的収支の概要

		(百万円)		
		令和7年度	令和6年度	増減額
収益的収支 (税抜)	収入	8,945	8,913	33
	支出	8,147	8,062	85
	当年度純利益	798	850	△ 52
資本的収支 (税込)	収入	312	773	△ 461
	支出	2,319	3,695	△ 1,376
	差引 (A)	△ 2,007	△ 2,922	915
補てん財源(当年度発生分) (B)		2,436	2,580	△ 144
資金収支 (A+B)		428	△ 342	770
資金残高		8,461	8,033	428

Point! 8億円の黒字（微減）

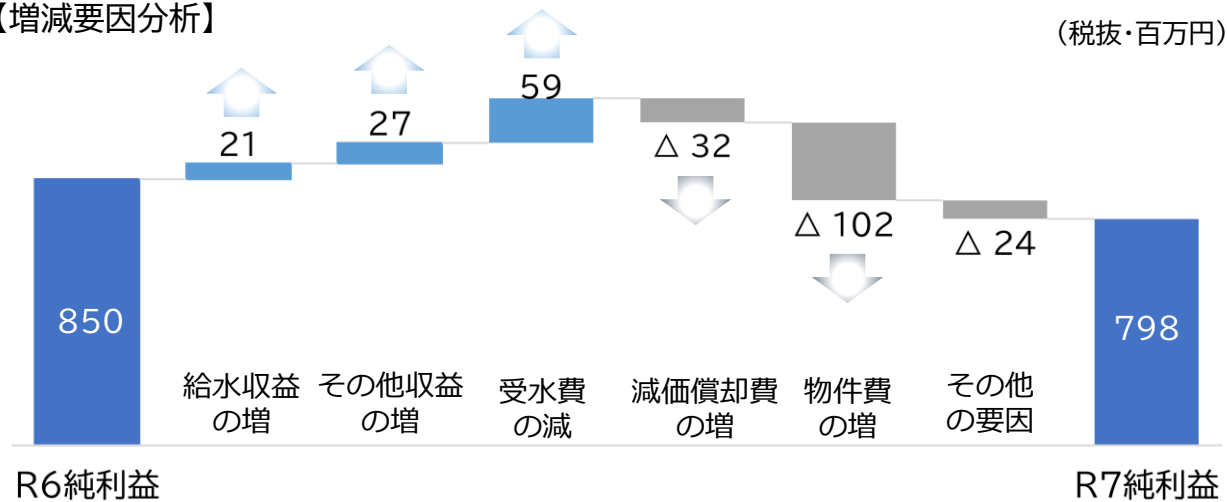
- 収益的収支の収入は3千万円の増、支出は8千万円の増、純利益は5千万円の減で8億円
- 資本的収支不足額は20億1千万円で、その補てんを反映した資金残高は84億6千万円

※収益的収支:日々の営業活動等

※資本的収支:施設の建設改良等

※補てん財源:純利益や損益勘定留保資金（減価償却費等）等

【増減要因分析】



Point! 物価高騰等の影響が継続

- 受水費の減や給水収益の増などの改善要因があったものの、近年の物価高騰の影響等により物件費の増などの悪化要因があり、純利益は全体で5千万円の減

3 収益的収支 & 資本的収支の内訳

収益的収支の内訳

収益的収入		(税抜・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
水道事業収益	8,945,200	8,912,556	32,644
經常収益	8,871,013	8,830,612	40,402
給水収益	7,795,881	7,775,256	20,625
長期前受金戻入	126,734	134,230	△ 7,495
その他収益	948,398	921,126	27,272
特別利益	74,186	81,944	△ 7,758

収益的支出		(税抜・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
水道事業費用	8,147,085	8,062,408	84,677
經常費用	8,144,748	8,058,723	86,025
人件費	792,831	777,216	15,615
給料・手当等	764,405	759,940	4,465
退職給付費	28,426	17,275	11,150
動力・薬品費	154,958	152,316	2,642
受水費	3,542,291	3,601,196	△ 58,904
減価償却費等	1,659,349	1,627,191	32,157
支払利息	140,420	148,125	△ 7,705
物件費	1,854,899	1,752,678	102,221
特別損失	2,338	3,685	△ 1,348

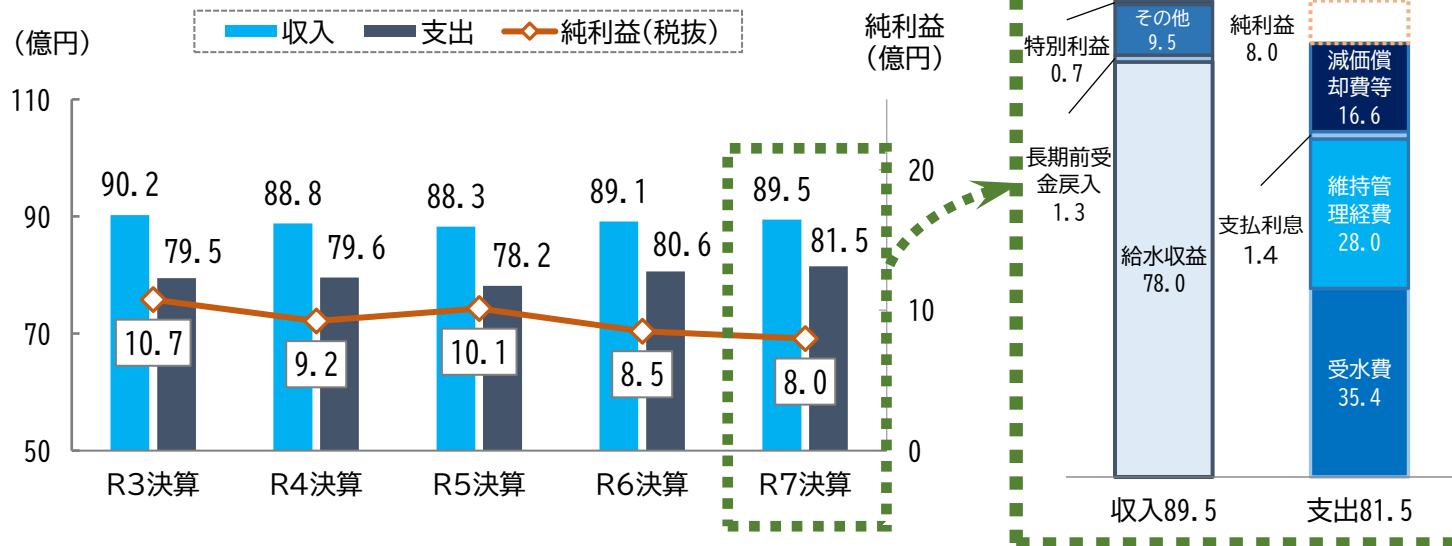
資本的収支の内訳

資本的収入		(税込・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
水道事業資本的収入	311,865	773,168	△ 461,303
企業債	300,000	700,000	△ 400,000
負担金等	11,865	73,168	△ 61,303

資本的支出		(税込・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
水道事業資本的支出	2,319,338	3,695,233	△ 1,375,895
人件費	133,062	128,848	4,214
建設改良費	1,257,396	2,622,233	△ 1,364,837
企業債償還金	928,881	944,152	△ 15,271

4 収益的収支 & 資本的収支の推移

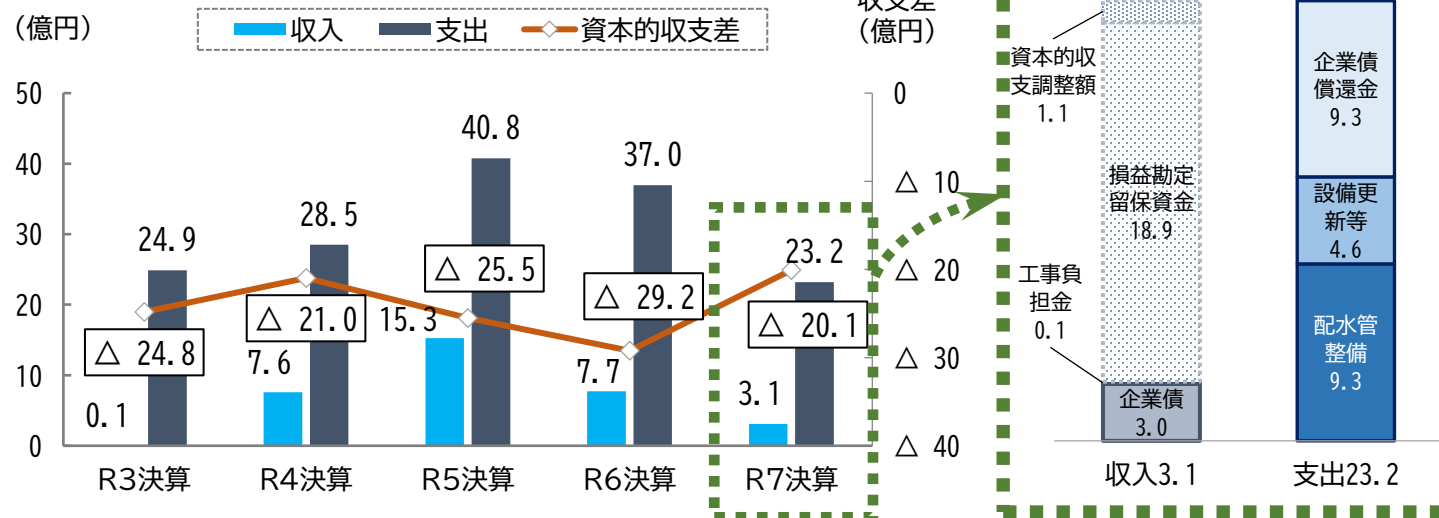
【収益的収支の推移】



Point! 収支構造に大きな変動なし

- 主な収益的収入は給水収益 (78億円)
- 主な収益的支出は受水費 (35.4億円)、減価償却費等 (16.6億円) など
- 令和7年度の純利益は直近5年間で最も低い水準であるものの、当初予算から決算にかけて改善し (1億円→8億円)、前年度比では微減

【資本的収支の推移】



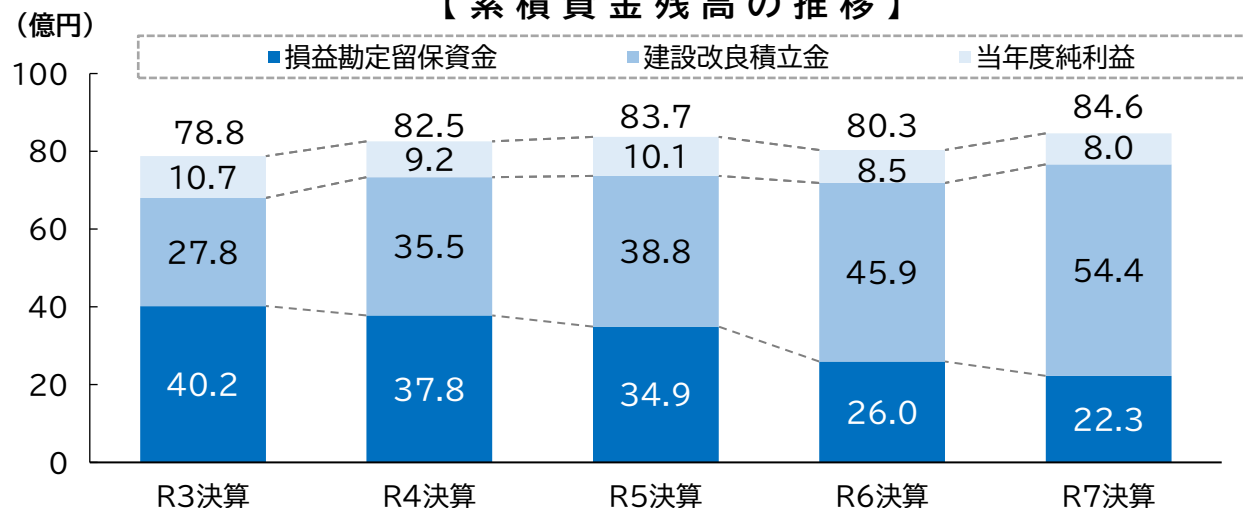
Point! 収支不足は資金で補てん

- 主な資本的収入は企業債 (3億円)
- 主な資本的支出は建設改良費 (13.9億円)、企業債償還金 (9.3億円) など
- 資本的収支不足額は損益勘定留保資金等により補てん

※ () 内はR7決算

5 累積資金 & 企業債残高の推移

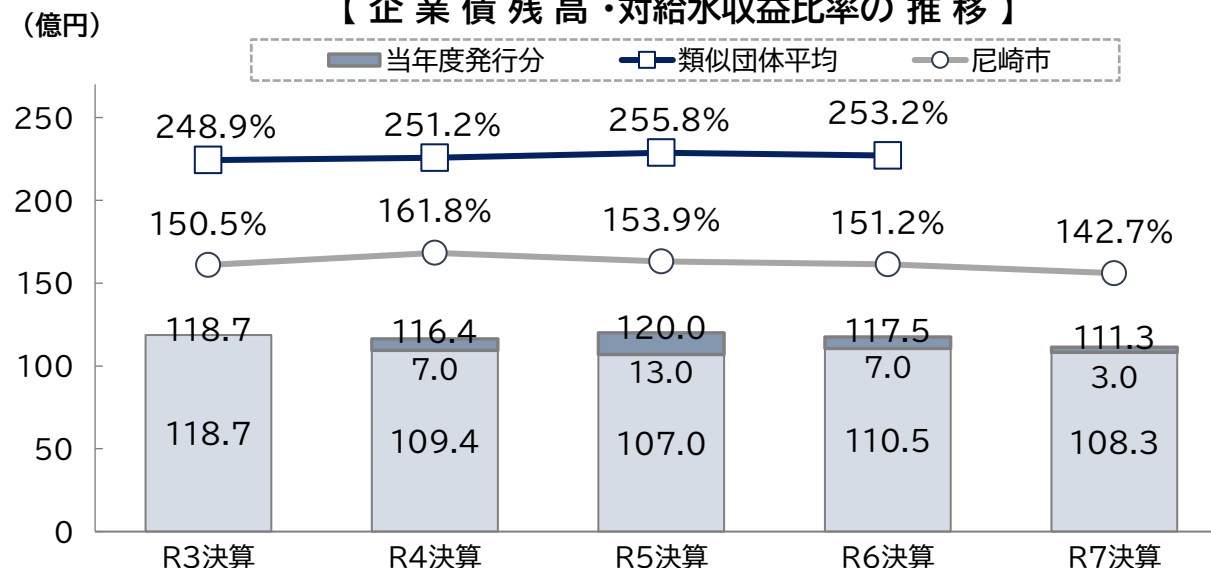
【累積資金残高の推移】



資金＝健全な水準を維持

- 累積資金の内訳は建設改良積立金（54.4億円）、損益勘定留保資金（22.3億円）など
- 令和7年度末の累積資金残高は、4.3億円の増で、84.6億円

【企業債残高・対給水収益比率の推移】



企業債＝比較的低い水準

- 令和7年度末の企業債は、3億円の発行と9.3億円の償還により、令和6年度末と比較して6.3億円減の111.3億円
- 類似団体平均と比較して低い水準を維持

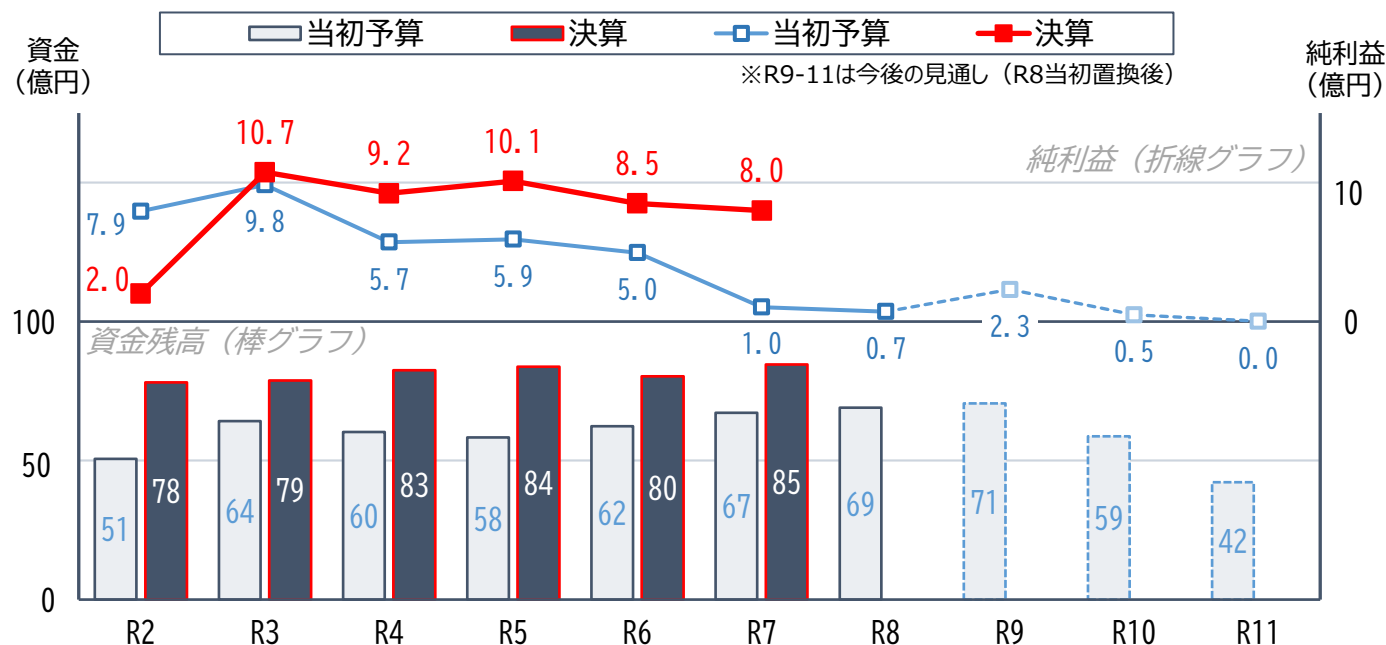
※企業債残高対給水収益比率
＝企業債残高÷給水収益

※類似団体:給水人口30万人以上の末端給水事業

6 純利益・資金の推移 & 利益処分（案）

【純利益（折線グラフ・右軸）】

【資金（棒グラフ・左軸）】



Point! 計画を上回る純利益を確保

- 令和7年度の純利益は当初予算の1億円から改善し、8億円を確保
- 累積資金は、当初予算の67億円を上回る85億円を確保
- 直近の見通し（令和8年度当初予算を基に置換）においては、給水収益の減少等により、令和12年度に赤字、16年度に資金不足となると見込んでいる。

利益処分（案）

処分前残高 (千円)

利益積立金	-
建設改良積立金	5,436,892
当年度未処分利益剰余金	798,115
当年度純利益	798,115
建設改良積立金の取崩し	-

処分後残高 (千円)

利益積立金	500,000
建設改良積立金	5,735,006
議会の議決による処分額	798,115
利益積立金の積立て	500,000
建設改良積立金の積立て	298,115
資本金への組入れ	-

Point! 今後の収支悪化に備える

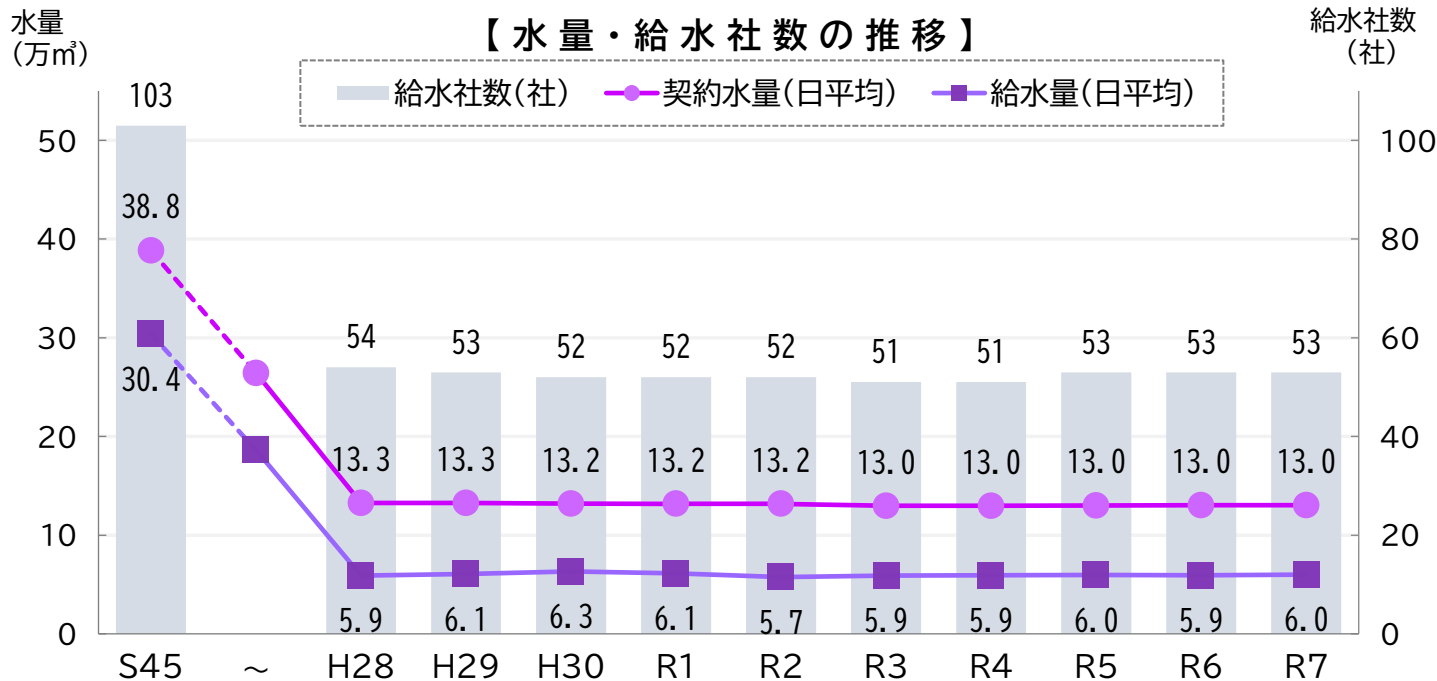
- 当年度純利益（8億円）のうち、5億円は今後の収支悪化に備えるため利益積立金に積み立て、3億円は建設改良積立金に積み立てる予定

1 事業の概要

区 分		令和7年度	令和6年度	増減	増減率
給 水 社 数		53 社	53 社	0 社	0.0%
契約水量	年間総量	47,582,495 m ³	47,582,495 m ³	0 m ³	0.0%
	年度末（日量）	130,363 m ³	130,363 m ³	0 m ³	0.0%
給 水 量		21,919,400 m ³	21,688,480 m ³	230,920 m ³	1.1%

Point! 給水社数 & 給水量 = 横ばい

- 給水社数は前年度と変わらず53社
- 年間給水量は1.1%の増で2,192万m³
- 給水社数、契約水量、給水量いずれも直近10年間ではほぼ横ばいの状況



2 収益的収支 & 資本的収支の概要

		(百万円)		
		令和7年度	令和6年度	増減額
収益的収支 (税抜)	収入	1,865	1,805	61
	支出	1,539	1,407	131
	当年度純利益	327	397	△ 71
資本的収支 (税込)	収入	139	139	0
	支出	1,498	501	998
	差引 (A)	△ 1,360	△ 362	△ 998
補てん財源(当年度発生分) (B)		800	753	47
資金収支 (A+B)		△ 560	391	△ 950
資金残高		8,132	8,692	△ 560



3.3 億円の黒字（微減）

- 収益的収支の収入は6千万円の増、支出は1億3千万円の増、純利益は7千万円の減で3億3千万円
- 資本的収支不足額は13億6千万円で、その補てんを反映した資金残高は81億3千万円

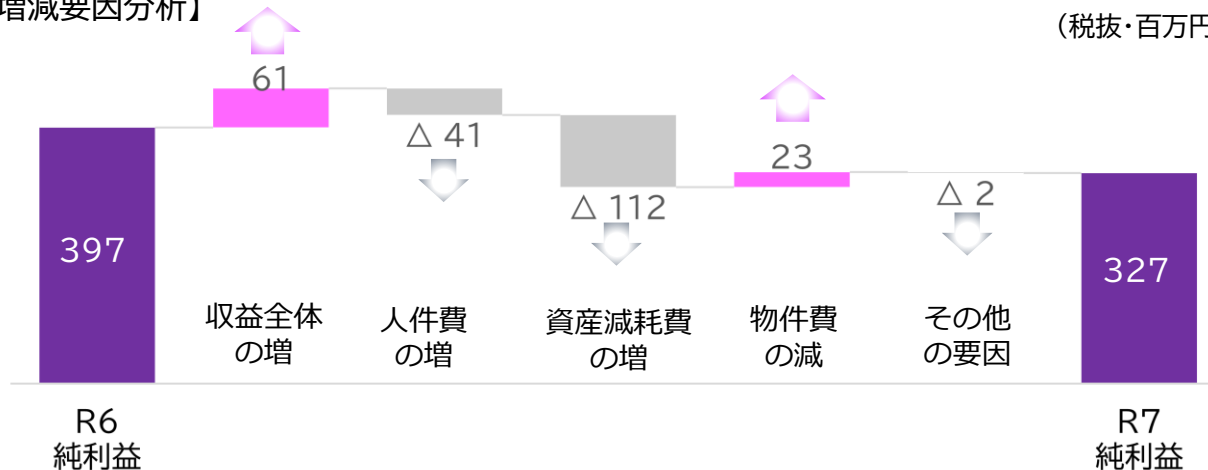
※収益的収支:日々の営業活動等

※資本的収支:施設の建設改良等

※補てん財源:純利益や損益勘定留保資金（減価償却費等）等

【増減要因分析】

(税抜・百万円)



資金運用等により収益は増

- 資金運用利息の増などの改善要因があったものの、資産減耗費の増などの悪化要因があり、純利益は全体で7千万円の減

3 収益的収支 & 資本的収支の内訳

収益的収支の内訳

収益的収入		(税抜・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
工業用水道事業収益	1,865,482	1,804,809	60,673
經常収益	1,655,974	1,601,209	54,765
給水収益	1,095,157	1,093,007	2,149
長期前受金戻入	67,530	63,643	3,887
その他収益	493,287	444,558	48,729
特別利益	209,508	203,600	5,908

収益的支出		(税抜・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
工業用水道事業費用	1,538,770	1,407,457	131,312
經常費用	1,538,770	1,407,457	131,312
人件費	174,932	133,955	40,977
給料・手当等	140,596	127,213	13,383
退職給付費	34,336	6,742	27,594
動力・薬品費	266,217	255,888	10,329
減価償却費等	486,802	383,560	103,243
物件費	610,818	634,055	△ 23,237
特別損失	-	-	-

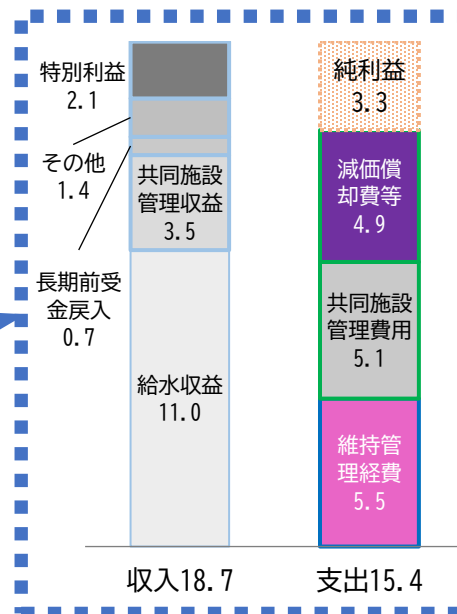
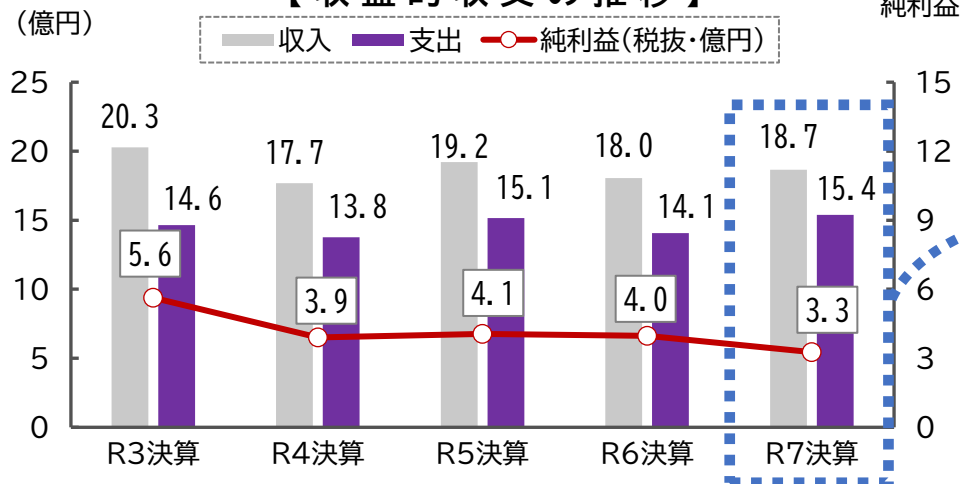
資本的収支の内訳

資本的収入		(税込・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
工業用水道事業資本的収入	138,520	138,520	-
固定資産売却代	38,400	38,400	-
投資有価証券償還金	100,120	100,120	-

資本的支出		(税込・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
工業用水道事業資本的支出	1,498,461	500,953	997,508
人件費	7,275	4,866	2,409
建設改良費	1,391,186	396,088	995,099
投資有価証券	100,000	100,000	-

4 収益的収支 & 資本的収支の推移

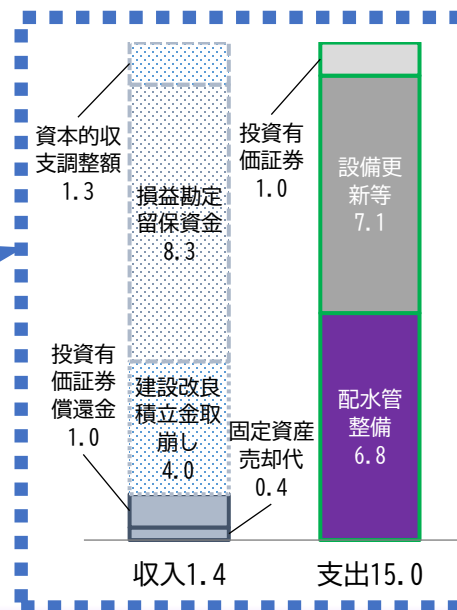
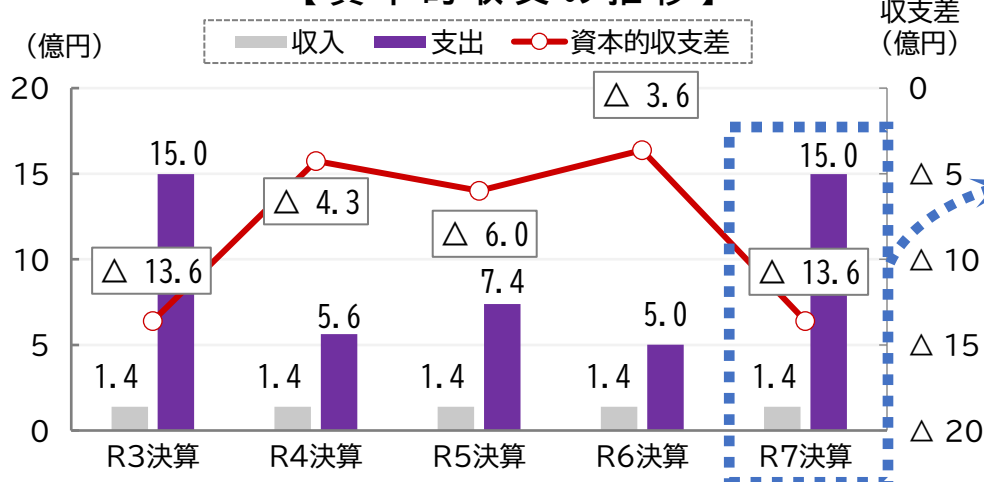
【収益的収支の推移】



Point! 収支構造に大きな変動なし

- 主な収益的収入は給水収益 (11億円) など
- 主な収益的支出は物件費などの維持管理経費 (5.5億円)、共同施設管理費用 (5.1億円)、減価償却費等 (4.9億円) など
- 収益的収支は概ね横ばいの状況

【資本的収支の推移】

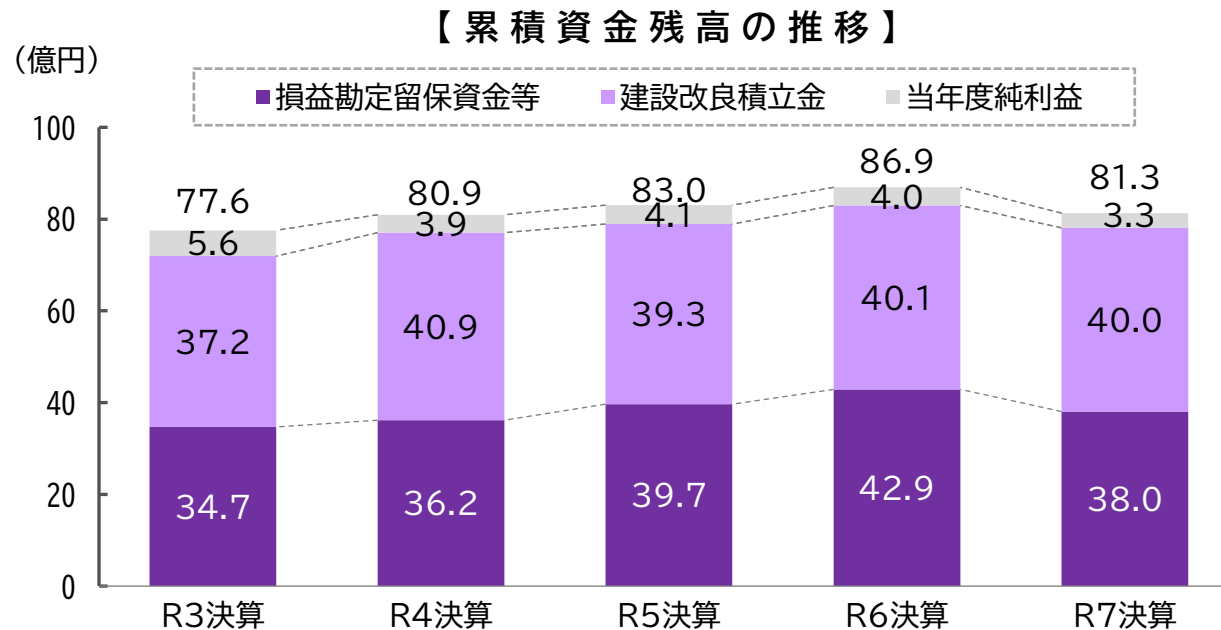


Point! 収支不足は資金で補てん

- 資本的収入は投資有価証券償還金 (1億円)、固定資産売却代 (0.4億円)
- 主な資本的支出は建設改良費 (14億円)、投資有価証券 (1億円) など
- 資本的収支不足額は損益勘定留保資金等により補てん

※ () 内はR7決算

5 累積資金残高の推移



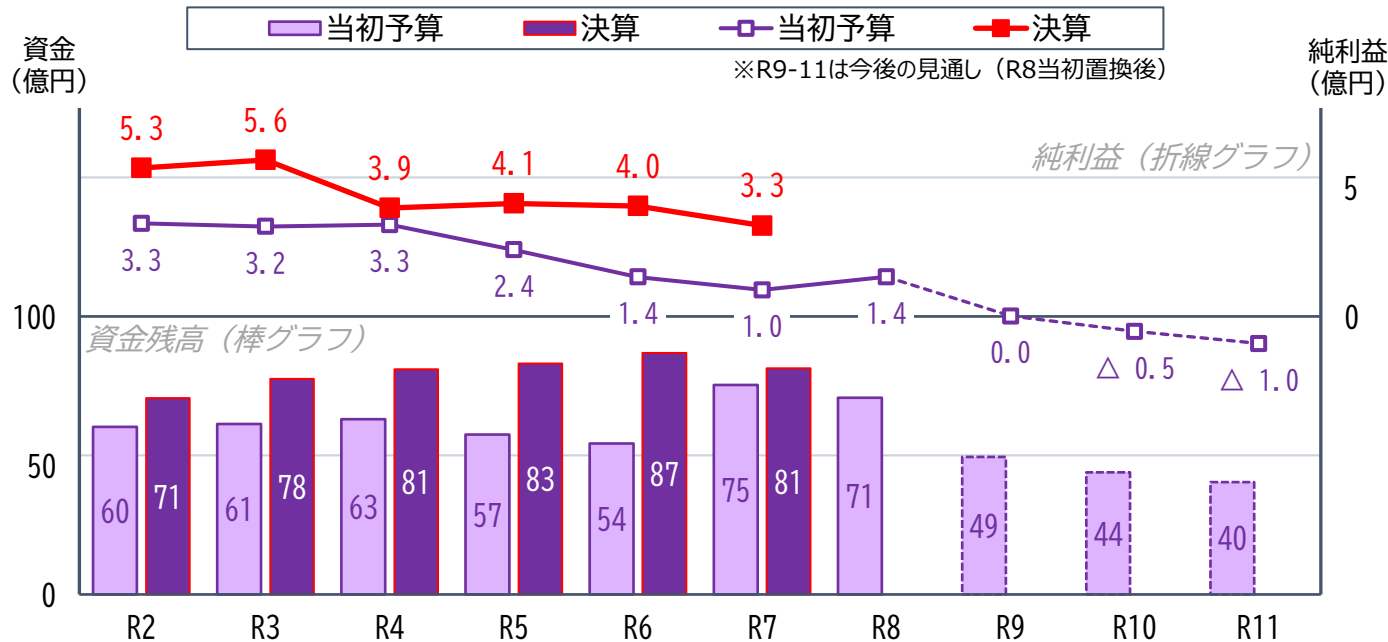
Point! 資金運用の拡充を継続

- 累積資金の内訳は建設改良積立金（40億円）、損益勘定留保資金（38億円）など
- 令和7年度末の累積資金残高は、5.6億円の減で、81.3億円
- 事業規模に比して資金は潤沢な状況（令和8年度当初予算において投資有価証券の予算を拡充）

6 純利益・資金の推移 & 利益処分（案）

【 純利益（折線グラフ・右軸）】

【 資 金 （棒グラフ・左軸）】



Point! 計画を上回る純利益を確保

- 令和7年度の純利益は当初予算の1億円から改善し、3.3億円を確保
- 累積資金は、当初予算の75億円を上回る81億円を確保
- 直近の見通し（令和8年度当初予算を基に置換）においては、令和10年度に赤字となる一方で、資金については当面不足が生じない見込み（投資有価証券などの運用の拡充を継続）

利益処分(案)

処分前残高 (千円)

利益積立金 -

建設改良積立金 4,003,941

当年度未処分利益剰余金 726,713

当年度純利益 326,713

建設改良積立金の取崩し 400,000

処分後残高 (千円)

利益積立金 250,000

建設改良積立金 4,080,654

議会の議決による処分額 726,713

利益積立金の積立て 250,000

建設改良積立金の積立て 76,713

資本金への組入れ 400,000

Point! 今後の収支悪化に備える

- 当年度純利益（3.3億円）のうち、2.5億円は今後の収支悪化に備えるため利益積立金に積み立て、0.8億円は建設改良積立金に積み立てる予定
- 建設改良積立金の取崩し（4億円）は資本金へ組み入れる予定

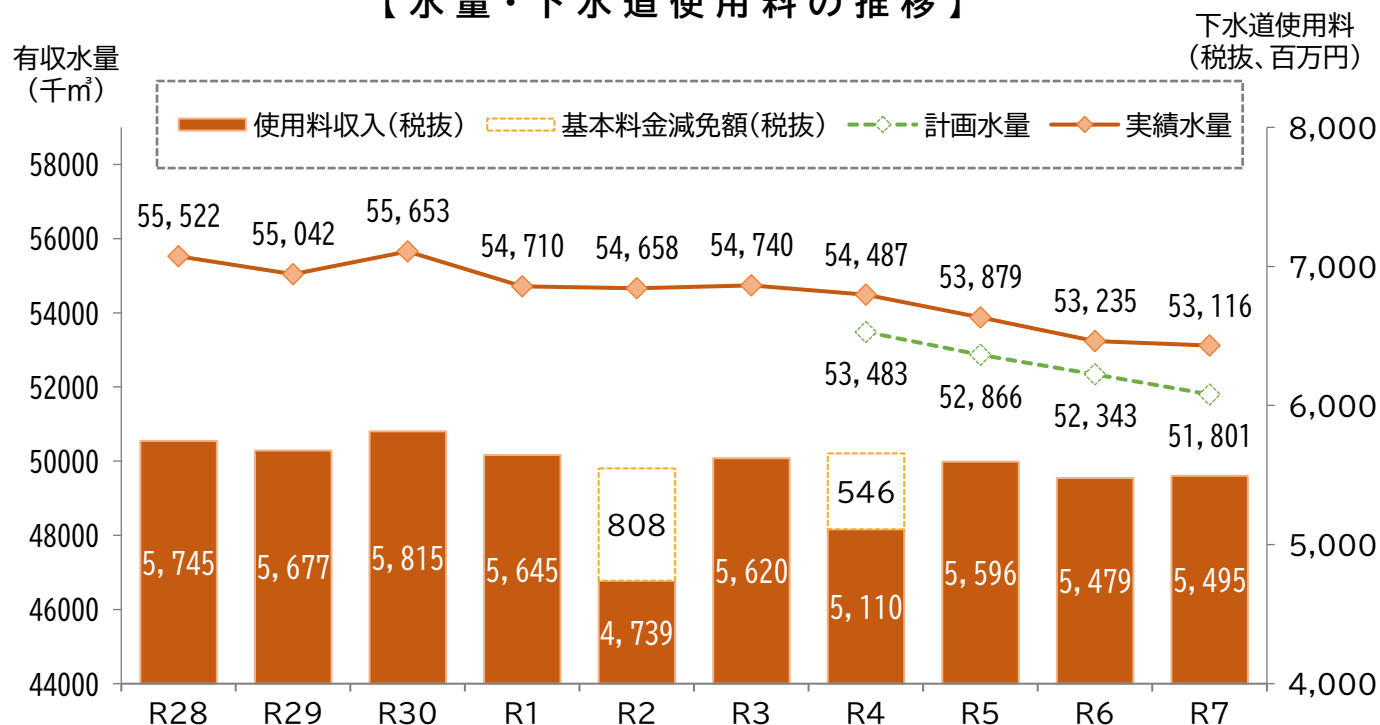
1 事業の概要

区 分	令和7年度	令和6年度	増減	増減率
有収水量	53,116,425 m ³	53,234,851 m ³	△ 118,426 m ³	△ 0.2%
雨水放流量	6,430,002 m ³	12,697,612 m ³	△ 6,267,610 m ³	△ 49.4%
降雨量	1,023 mm	1,400 mm	△ 378 mm	△ 27.0%
降雨日数	87 日	98 日	△ 11 日	△ 11.2%

Point! 有収水量＝ほぼ横ばい

- 有収水量は0.2%の減
5,312万m³
- 降雨量は27%の減、降雨日数は11.2%の減

【水量・下水道使用料の推移】



Point! 使用料収入＝ほぼ横ばい

- 近年では減少傾向が続いていたが、令和7年度決算では、有収水量（微減）、使用料収入（微増）ともにほぼ横ばいとなった。

2 収益的収支 & 資本的収支の概要

		(百万円)		
		令和7年度	令和6年度	増減額
収益的収支 (税抜)	収入	12,720	12,704	16
	支出	12,140	11,858	282
	当年度純利益	580	846	△ 266
資本的収支 (税込)	収入	2,120	3,456	△ 1,336
	支出	6,795	7,288	△ 493
	差引 (A)	△ 4,675	△ 3,832	△ 843
補てん財源(当年度発生分) (B)		4,515	4,730	△ 215
資金収支 (A + B)		△ 160	898	△ 1,058
資金残高		19,087	19,247	△ 160

Point! 5.8億円の黒字

- 収益的収支の収入は2千万円の増、支出は2億8千万円の増、純利益は2億7千万円の減で5.8億円
- 資本的収支不足額は46億8千万円で、その補てんを反映した資金残高は190億9千万円

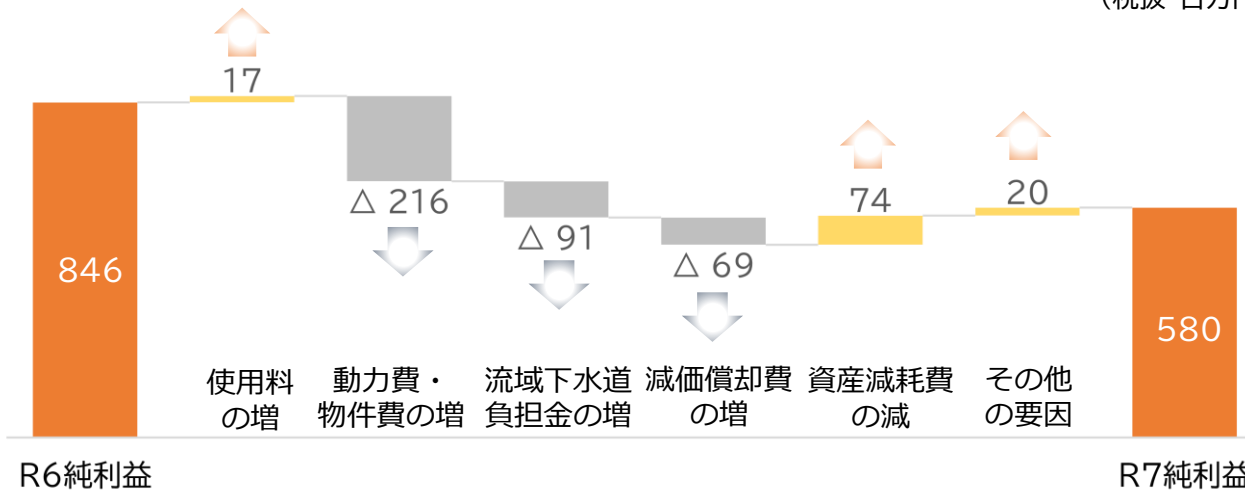
※収益的収支:日々の営業活動等

※資本的収支:施設の建設改良等

※補てん財源:純利益や損益勘定留保資金(減価償却費等)等

【増減要因分析】

(税抜・百万円)



Point! 物価高騰等の影響が継続

- 資産減耗費の減などの改善要因があったものの、近年の物価高騰の影響等により動力費や流域下水道負担金の増などの悪化要因があり、純利益は全体で2億7千万円の減

3 収益的収支 & 資本的収支の内訳

収益的収支の内訳

収益的収入		(税抜・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
下水道事業収益	12,720,156	12,704,413	15,743
經常収益	12,720,156	12,696,971	23,186
下水道使用料	5,495,070	5,478,537	16,534
雨水処理負担金	4,132,434	4,138,788	△ 6,354
他会計負担金等	57,371	72,467	△ 15,096
長期前受金戻入	2,877,980	2,865,446	12,534
その他収益	157,301	141,733	15,567
特別利益	-	7,442	△ 7,442

収益的支出		(税抜・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
下水道事業費用	12,139,922	11,858,349	281,573
經常費用	12,138,681	11,854,980	283,701
人件費	504,131	514,514	△ 10,383
給料・手当等	417,641	403,379	14,261
退職給付費	86,490	111,135	△ 24,644
流域下水道負担金	1,442,904	1,349,754	93,149
減価償却費等	6,590,068	6,594,745	△ 4,678
支払利息	314,211	324,243	△ 10,032
動力費・物件費	3,287,368	3,071,723	215,645
特別損失	1,241	3,368	△ 2,127

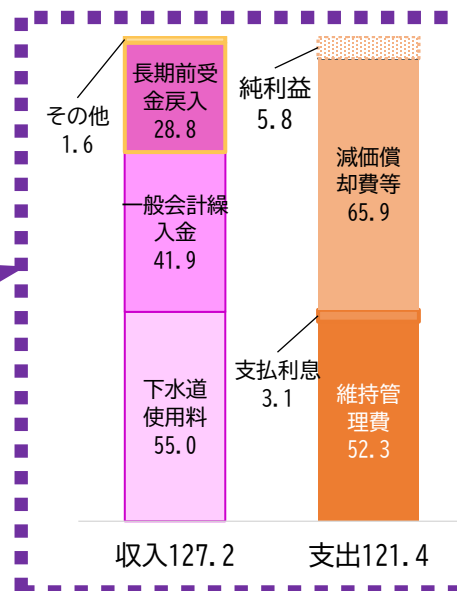
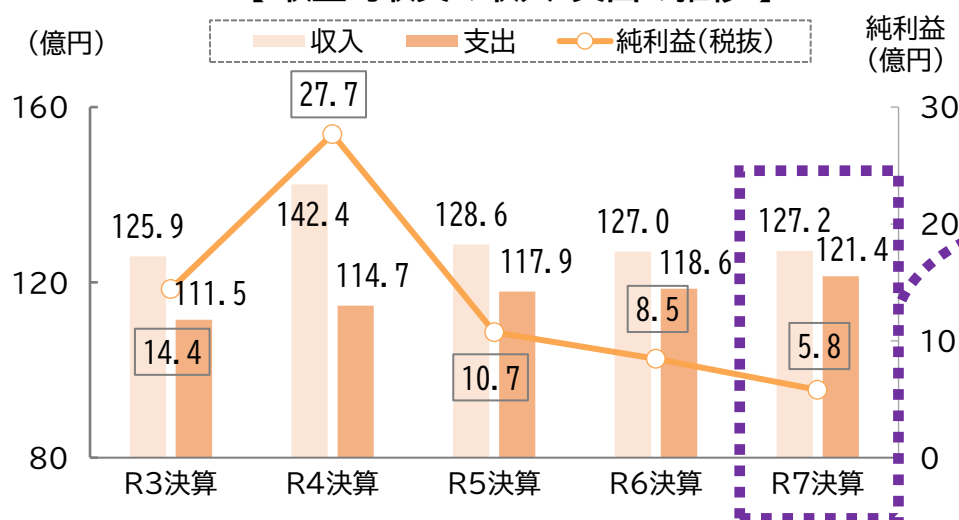
資本的収支の内訳

資本的収入		(税込・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
下水道事業資本的収入	2,119,804	3,455,586	△ 1,335,782
企業債	717,600	800,900	△ 83,300
国庫補助金	1,378,260	2,018,062	△ 639,802
他会計補助金	1,088	570,068	△ 568,980
負担金等	22,856	66,556	△ 43,700

資本的支出		(税込・千円)	
	令和7年度	令和6年度	増減額
下水道事業資本的支出	6,794,927	7,287,826	△ 492,899
人件費	253,637	241,943	11,693
公共下水道整備費	167,678	154,463	13,215
施設改良費	3,300,572	4,006,858	△ 706,286
流域下水道整備費	396,079	172,565	223,515
企業債償還金	1,632,970	1,703,104	△ 70,135
投資有価証券等	1,043,991	1,008,893	35,098

4 収益的収支 & 資本的収支の推移

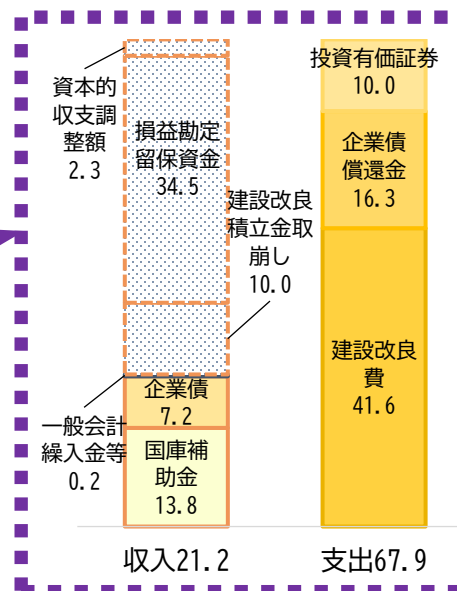
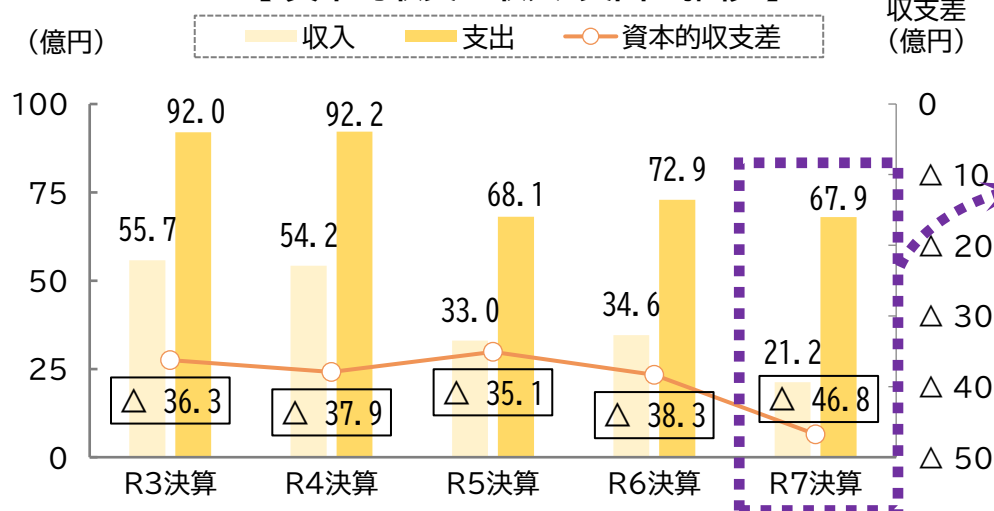
【収益的収支の収入・支出の推移】



Point! 近年、純利益は減少傾向

- 主な収益的収入は下水道使用料（55億円）、雨水処理負担金（41.3億円）など
- 主な収益的支出は減価償却費等（65.9億円）、流域下水道負担金（14.4億円）など
- 令和7年度の純利益は直近5年間で最も低い水準。当初予算から決算にかけて改善し（2.6億円→5.8億円）、前年度比で2.7億円の減

【資本的収支の収入・支出の推移】



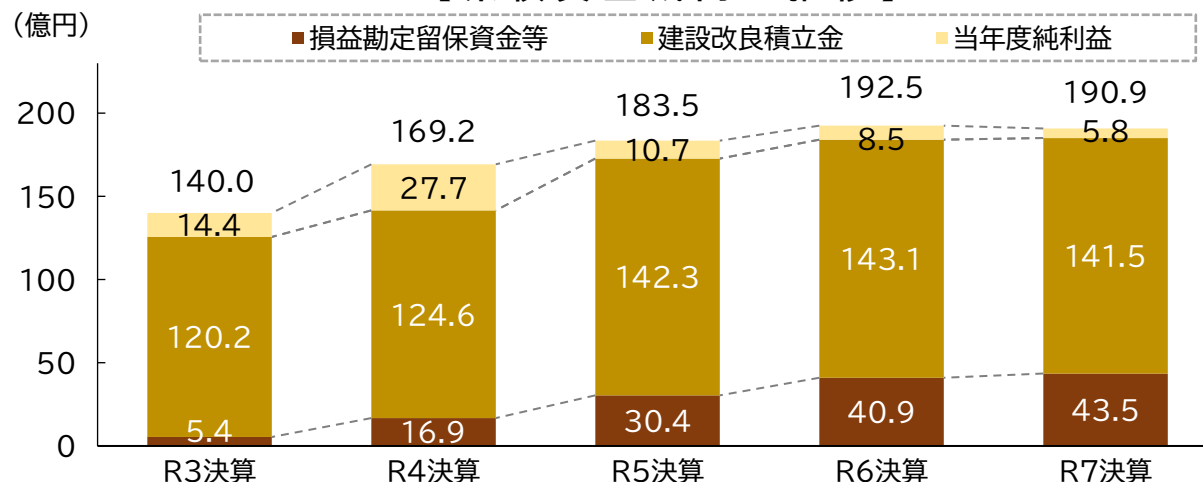
Point! 収支不足は資金で補てん

- 主な資本的収入は国庫補助金（13.8億円）、企業債（7.2億円）など
- 資本的支出は建設改良費（41.6億円）、企業債償還金（16.3億円）、投資有価証券（10億円）
- 資本的収支不足額は損益勘定留保資金等により補てん

※ () 内はR7決算

5 累積資金 & 企業債残高の推移

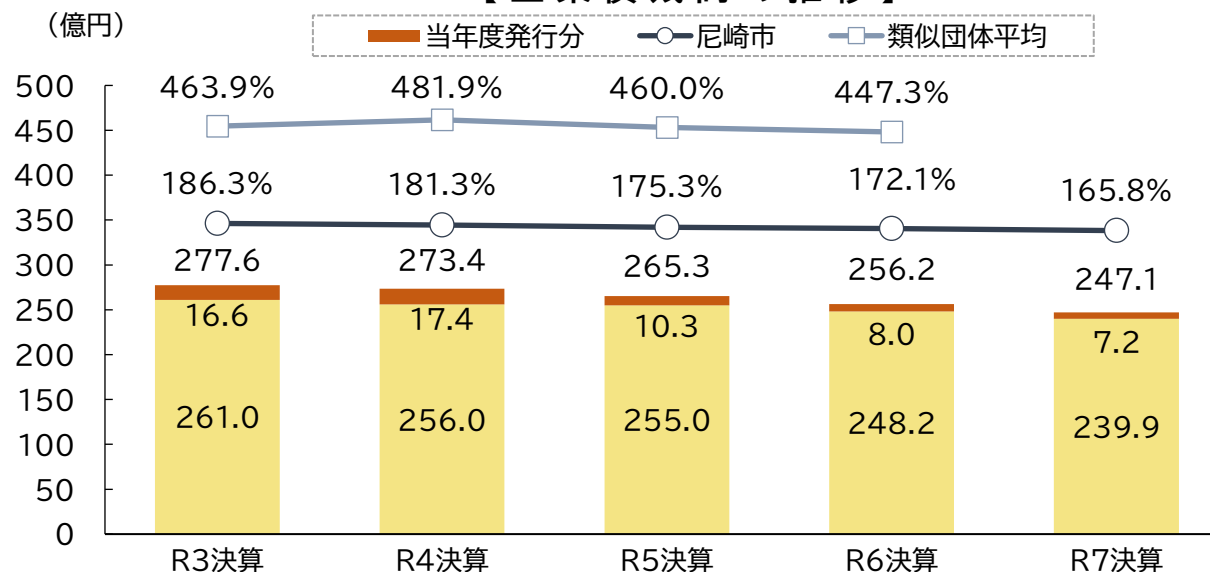
【累積資金残高の推移】



Point! 資金運用の拡充を継続

- 累積資金の内訳は建設改良積立金（141.5億円）、損益勘定留保資金（43.5億円）など
- 令和7年度末の累積資金残高は、1.6億円の減で、190.9億円
- 近年は投資有価証券の予算を毎年度10億円計上

【企業債残高の推移】



Point! 企業債＝比較的低い水準

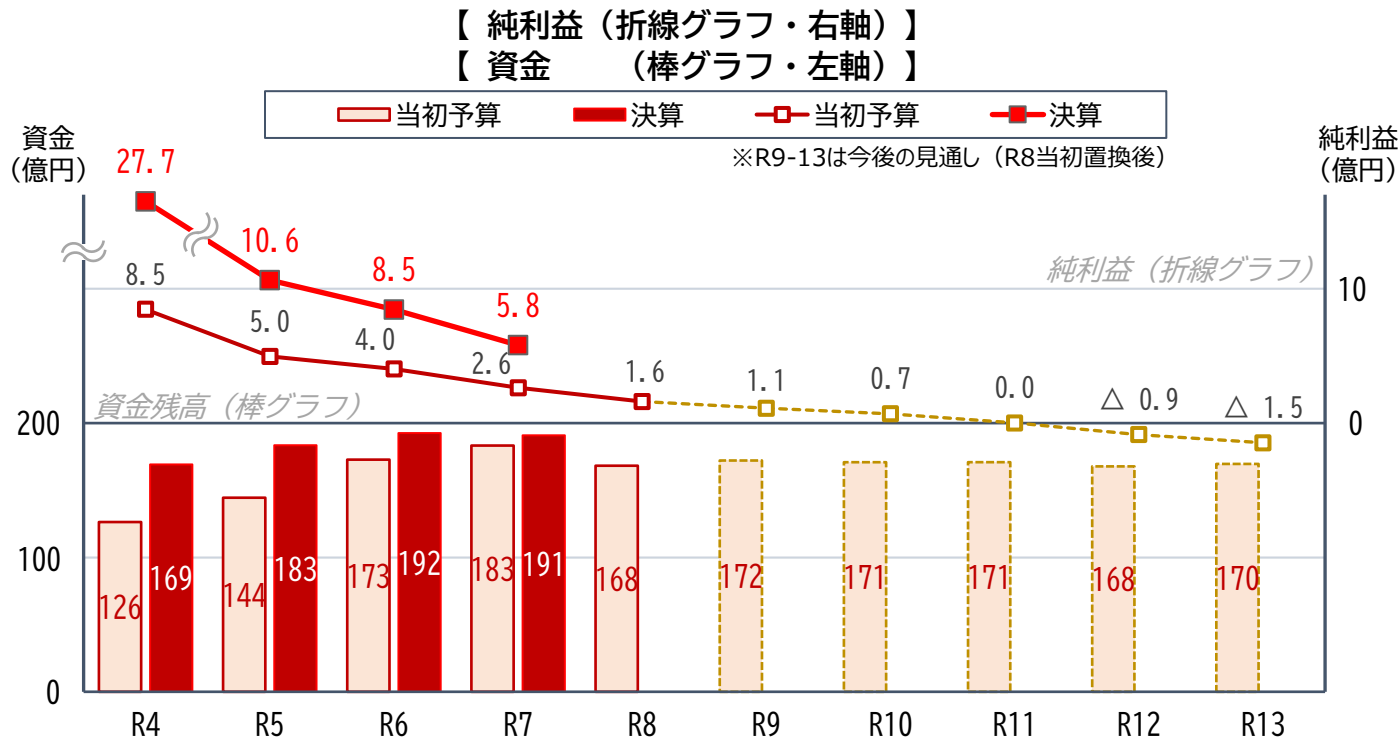
- 令和7年度末の企業債は、7.2億円の発行と16.3億円の償還により、令和6年度末と比較して9.1億円減の247.1億円
- 類似団体平均と比較して低い水準を維持

※企業債残高対事業規模比率

$$= \frac{(\text{企業債残高} - \text{一般会計負担額})}{(\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金})} \times 100$$

※類似団体: 処理区域内人口10万人以上かつ人口密度100人/ha以上の団体

6 純利益・資金の推移 & 利益処分（案）



Point! 引き続き純利益は減少傾向

- 令和7年度の純利益は当初予算の2.6億円から改善し、5.8億円を確保
- 累積資金は、当初予算の183億円を上回る191億円を確保
- 直近の見通し（令和8年度当初予算を基に置換）においては、今後も収支悪化が継続し、令和12年度に赤字となる一方で、資金については当面不足が生じない見込み（投資有価証券などの運用の拡充を継続）
- 大規模な建設改良（雨水貯留管、東部雨水ポンプ場建替等）により今後資金需要が加速

利益処分（案）

処分前残高 (千円)

利益積立金 -

建設改良積立金 14,153,200

当年度未処分利益剰余金 1,580,234

当年度純利益 580,234

建設改良積立金の取崩し 1,000,000

処分後残高 (千円)

利益積立金 500,000

建設改良積立金 14,233,435

議会の議決による処分額 1,580,234

利益積立金の積立て 500,000

建設改良積立金の積立て 80,234

資本金への組入れ 1,000,000

Point! 今後の収支悪化に備える

- 当年度純利益（5.8億円）のうち、5億円は今後の収支悪化に備えるため利益積立金に積み立て、0.8億円は建設改良積立金に積み立てる予定
- 建設改良積立金の取崩し（10億円）は資本金へ組み入れる予定

1 事業の概要

区 分		令和7年度	令和6年度	増減	増減率
開 催 日 数		130日	130日	－日	0.0%
舟 券 発 売 金 (主 催)	年 間 総 数	60,869,357千円	70,239,828千円	△ 9,370,471千円	△ 13.3%
	一 日 平 均	468,226千円	540,306千円	△ 72,081千円	
売 上 金 (主 催)	年 間 総 数	60,419,907千円	69,500,936千円	△ 9,081,029千円	△ 13.1%
	一 日 平 均	464,769千円	534,623千円	△ 69,854千円	
有 料 入 場 者 数	年間総数	256,386人	286,517人	△ 30,131人	△ 10.5%
		(子ども:50,346人)	(子ども:54,178人)	△3,832人	△7.1%
	一 日 平 均	1,972人	2,204人	△ 232人	



事業の概要

売上金は前年度に比べ13.1%減となる604億2千万円、有料入場者数は10.5%減となる256,386人

主なレース

グレード	令和7年度		令和6年度	
	レース名	売上金	レース名	売上金
SG			グランドチャンピオン	16,033百万円
PG I	第7回ボートレースバトル チャンピオントーナメント	8,069百万円		
G I	尼崎センブルカップ(開設73周年記念)	7,140百万円	尼崎ダイヤモンドカップ	6,044百万円
			尼崎センブルカップ(開設72周年記念)	7,334百万円
G II				
G III	オールレディース競走 あまがさきピンクルカップ	4,008百万円	オールレディース競走 あまがさきピンクルカップ	5,167百万円
	サッポロビールカップ	2,673百万円		
一般	21回(総開催日数:108日)	1日平均: 357百万円	20回(総開催日数:106日)	1日平均: 329百万円



主なレース

SGの開催がなかったことが、売上金が減少した主な要因。一方で、一般戦の1日平均売上は増

2 収益的収支 & 資本的収支の概要

		(百万円)		
		令和7年度	令和6年度	増減額
収益的収支 (税抜)	収入	64,725	74,188	△ 9,463
	支出	61,716	69,944	△ 8,228
	当年度純利益	3,009	4,244	△ 1,235
資本的収支 (税込)	収入	0	10	△ 10
	支出	2,309	2,971	△ 662
	差引(A)	△ 2,309	△ 2,961	652
補てん財源(当年度発生分)(B)		4,213	5,201	△ 988
利益処分繰出金(C)		△ 3,545	△ 2,542	△ 1,003
資金収支(A+B+C)		△ 1,641	△ 302	△ 1,339
資金残高		9,165	10,806	△ 1,641

Point! 収益的収支

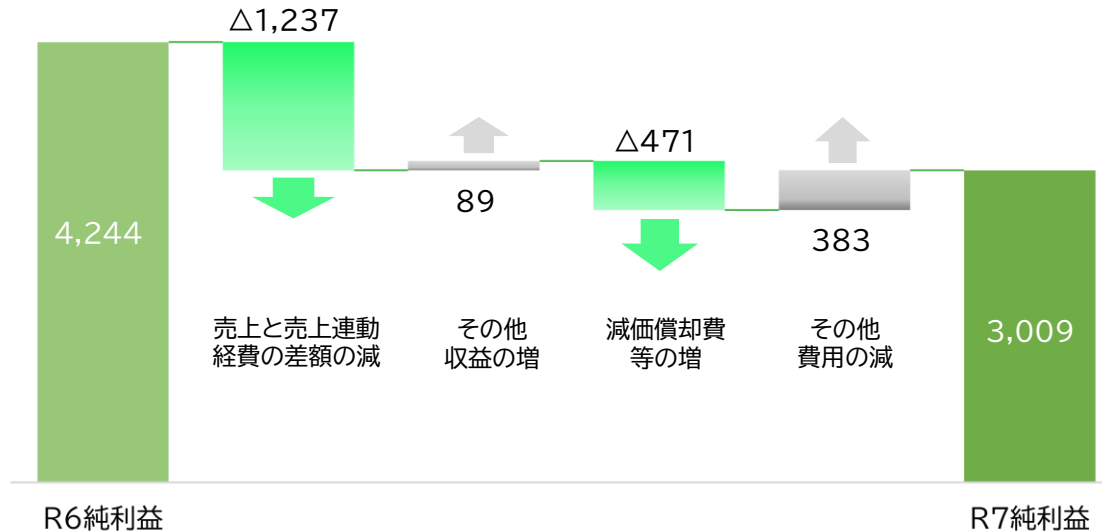
収入は、SGの開催がなかったため、開催収益が減。一方、支出では、開催収益の減に伴い払戻金等が減となった。その結果、当年度純利益は12億4千万円の減

Point! 資本的収支

建設改良費の減などにより差引は、6億5千万円の増

【増減要因分析】

(税抜:百万円)



3 収益的収支 & 資本的収支の内訳

収益的収支の内訳

収益的収入 (税抜・千円)

	令和7年度	令和6年度	増減額
モーターボート競走事業収益	64,725,572	74,188,117	△ 9,462,545
経常収益	64,725,572	74,188,117	△ 9,462,545
開催収益	60,869,357	70,239,828	△ 9,370,471
受託収益	2,971,723	3,152,606	△ 180,883
その他収益	884,492	795,683	88,809
特別利益	-	-	-

収益的支出 (税抜・千円)

	令和7年度	令和6年度	増減額
モーターボート競走事業費用	61,716,310	69,943,518	△ 8,227,208
経常費用	61,716,310	69,943,518	△ 8,227,208
人件費	561,726	562,206	△ 480
給料・手当等	528,968	542,515	△ 13,547
退職給付費	32,758	19,691	13,067
払戻金	45,131,438	51,915,085	△ 6,783,647
委託料	5,348,357	6,137,113	△ 788,756
負担金、補助及び交付金	3,734,283	4,107,670	△ 373,387
減価償却費等	1,270,435	799,624	470,811
繰出金	320,000	320,000	-
その他物件費	5,350,071	6,101,820	△ 751,749
特別損失	-	-	-

資本的収支の内訳

資本的収入 (税込・千円)

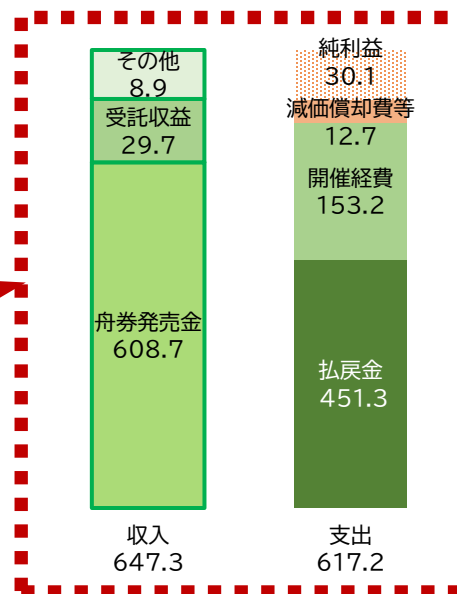
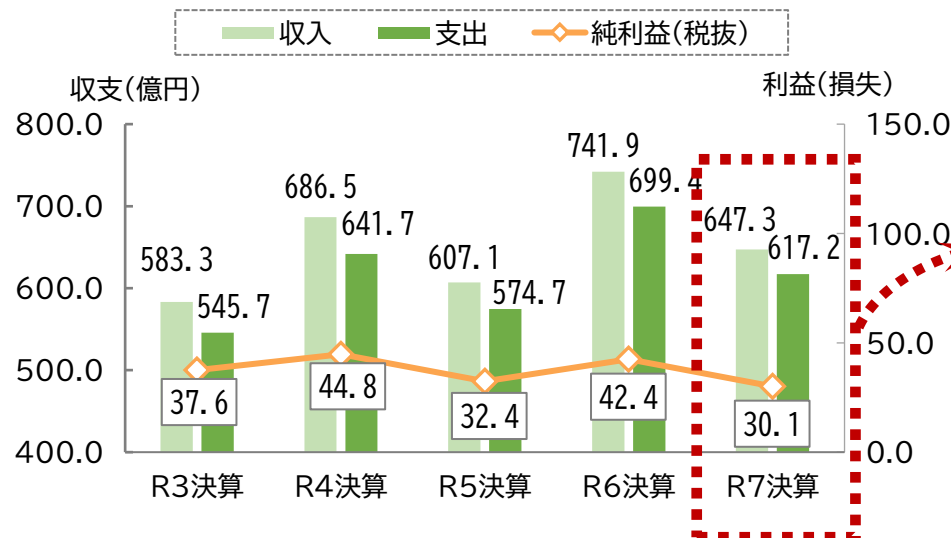
	令和7年度	令和6年度	増減額
モーターボート競走事業資本的収入	-	10,484	△ 10,484
補助金	-	10,484	△ 10,484

資本的支出 (税込・千円)

	令和7年度	令和6年度	増減額
モーターボート競走事業資本的支出	2,308,837	2,970,643	△ 661,806
人件費	58,762	55,685	3,077
建設改良費	1,950,075	2,614,958	△ 664,883
投資有価証券	300,000	300,000	-

4 収益的収支 & 資本的収支の推移

【収益的収支の推移】

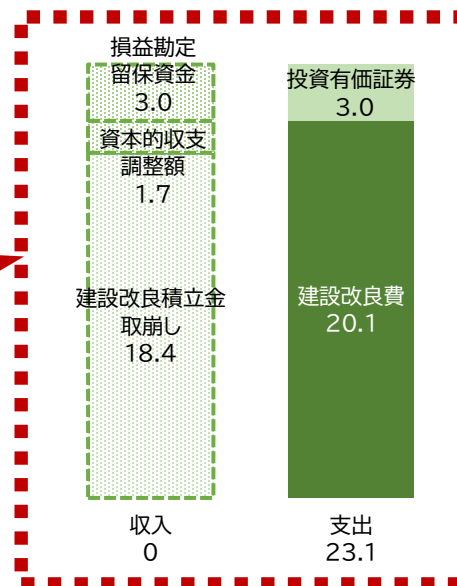
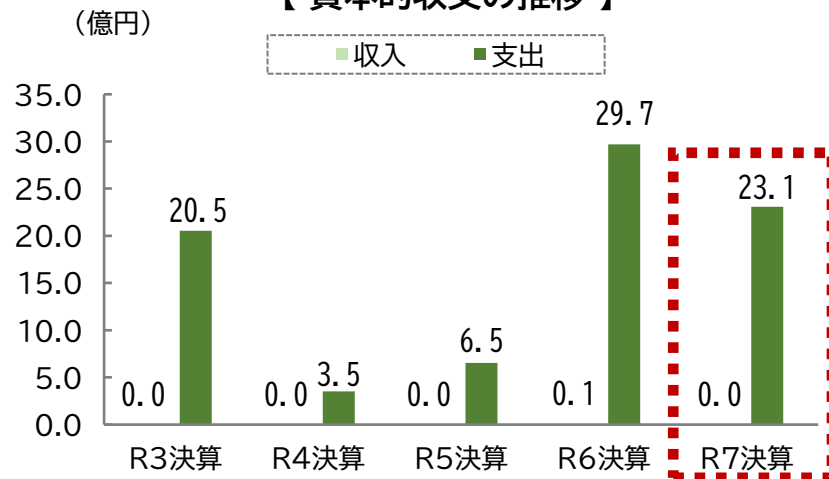


Point!

収益的収支

SGの開催があった年度は、収入・支出ともに増加している。一方で、SG開催に関わらず、安定的に30億円以上の純利益を計上出来ている

【資本的収支の推移】



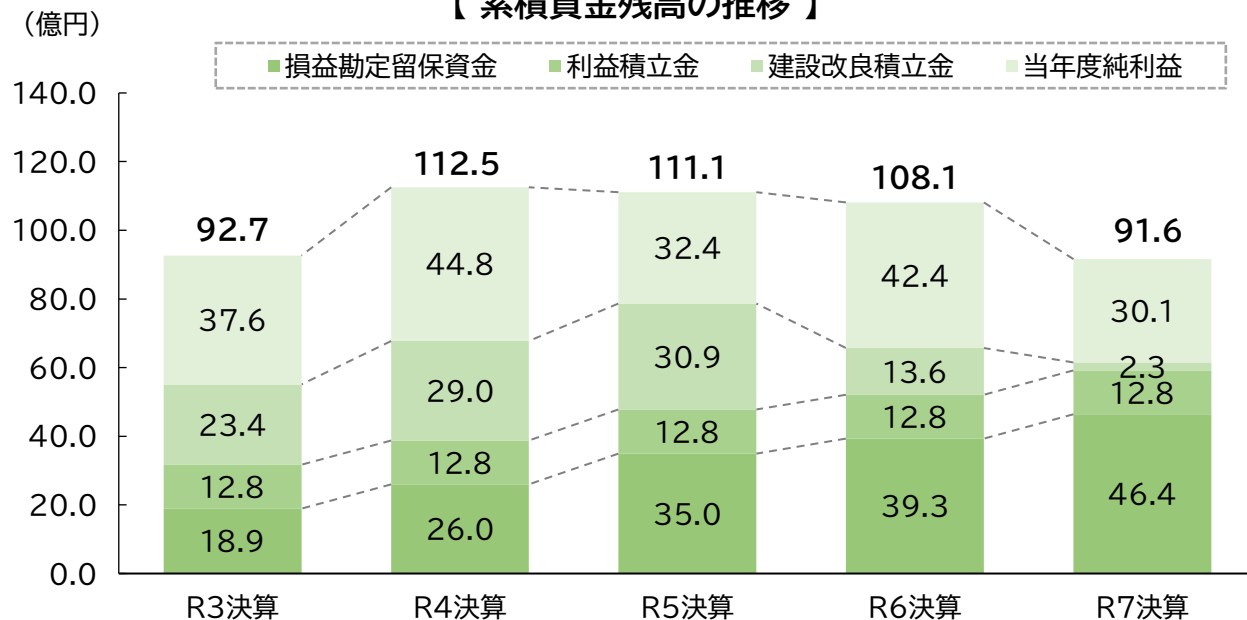
Point!

資本的収支

令和5年度から、競技エリア改修事業(R5~R8)が始まり、支出は増加傾向にある

5 累積資金残高の推移

【 累積資金残高の推移 】

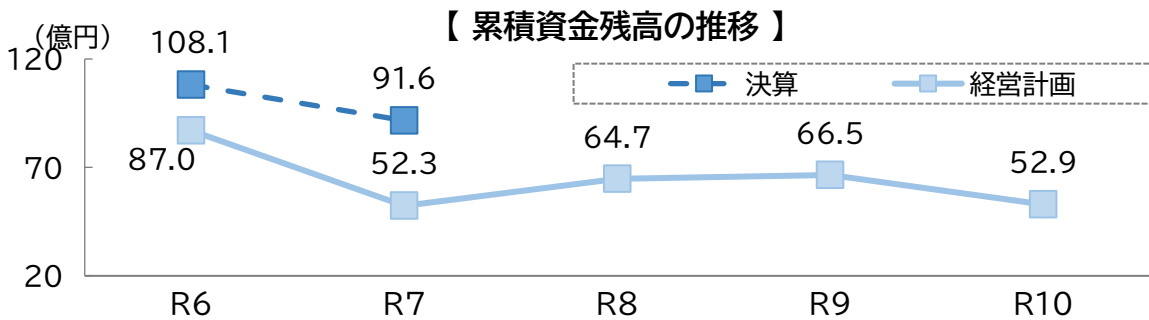
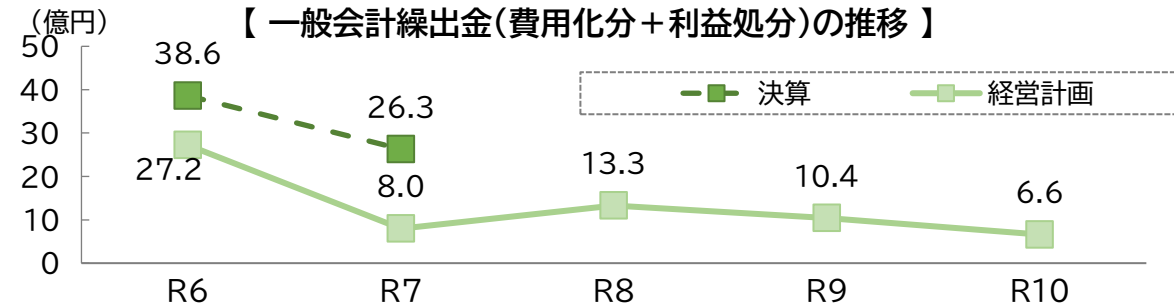


Point!

累積資金残高

累積資金残高は、競技エリア改修事業などへの投資で、令和6年度末と比較して16億5千万円の減で、91億6千万円となっている

6 純利益・資金の推移 & 利益処分（案）



Point! 経営計画

累積資金残高は、計画と比較して、純利益が改善するなど、39億3千万円の増

処分前残高

利益積立金	1,279,395
建設改良積立金	227,112

処分後残高

(単位:千円)

利益積立金	1,279,395
建設改良積立金	927,112
繰越利益剰余金	5,366,287

Point! 利益処分

令和7年度の当年度純利益30億1千万円は、施設整備の財源とするため、7億円を建設改良積立金に積立て、23億1千万円は一般会計へ繰り出す

当年度未処分利益剰余金 10,210,769

前年度繰越利益剰余金 5,366,287

当年度純利益 3,009,262

建設改良積立金取崩し 1,835,220

議会の議決による処分額 4,844,482

建設改良積立金の積立て 700,000

一般会計繰出金 2,309,262

資本金への組入れ 1,835,220